

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 28 日

評価対象事業	都整	-	20	道路橋りょう管理運営事業	☐ 法定受託事務		
所管課	都市整備部 道路河川管理課			評価者	道路河川管理課長 秋山 崇		
一般	会計	款	45	項	10	目	5
一般	分野名	道路整備		施策の方針名	道路・橋りょうの整備・維持管理		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	公共工事積算システムの利用契約や工事資材単価の調査など工事の発注環境の整備	（道路施設管理事業に統合）	
予算額（千円）	729		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	729	0	0
当初人員配置数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,537	0	0
事業実績	電信料・電子複写機賃借料の支払		
決算額（千円）	334		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	334	0	0
人員配置実績数	1.0	0.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7 （上段実績、下段経費（千円）	R8	R9
活1	指標名						
	実績につながる活動						

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No (最大3つ)
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	機構改革により、本事業の主たる部分が他課により実施されているため、指標になじまない。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している	
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者	☐ なし
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない	
	効 率 性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし		
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない		
公 平 性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない		
方向性		評価実施年度の方角性	⇒ 評価実施翌年度以降の方角性			
	事業内容の方角性	☐ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする			
		☐ 事業内容は見直し済	⇒ ☐ ② 事業内容は見直す	→ ☐ 拡大	☐ 縮小	☐ その他
	予算規模の方角性	☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する			
☒ 他事業と統合済		☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合		
☒ 予算規模は現状維持		☒ ① 予算規模は現状維持とする				
	☐ 予算規模は拡大済	⇒ ☐ ② 予算規模は拡大する				
	☐ 予算規模を縮小済	☐ ③ 予算規模は縮小する				
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし			
	総評	電子複写機及び携帯電話使用料を滞りなく支払うことにより、安全で円滑な交通を確保するための施設工事等の発注環境の整備が図られた。				上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本事業は電子複写機及び携帯電話使用料の支払の事業であり他市比較をすることで図れるものではない。
----------------------	---